

## “水と歴史でつながる圏域” 伊賀・山城南・東大和定住自立圏

この圏域は伊賀市、笠置町、南山城村、山添村が集まっています。古くから結びつきの強い地域で、「定住自立圏」として協力し合っています。

この圏域は、三重県、京都府、奈良県にまたがっており、北の信楽山地、東の鈴鹿山脈、布引山地、南の室生山地、西の大和高原など山々に囲まれた自然に恵まれた地域です。

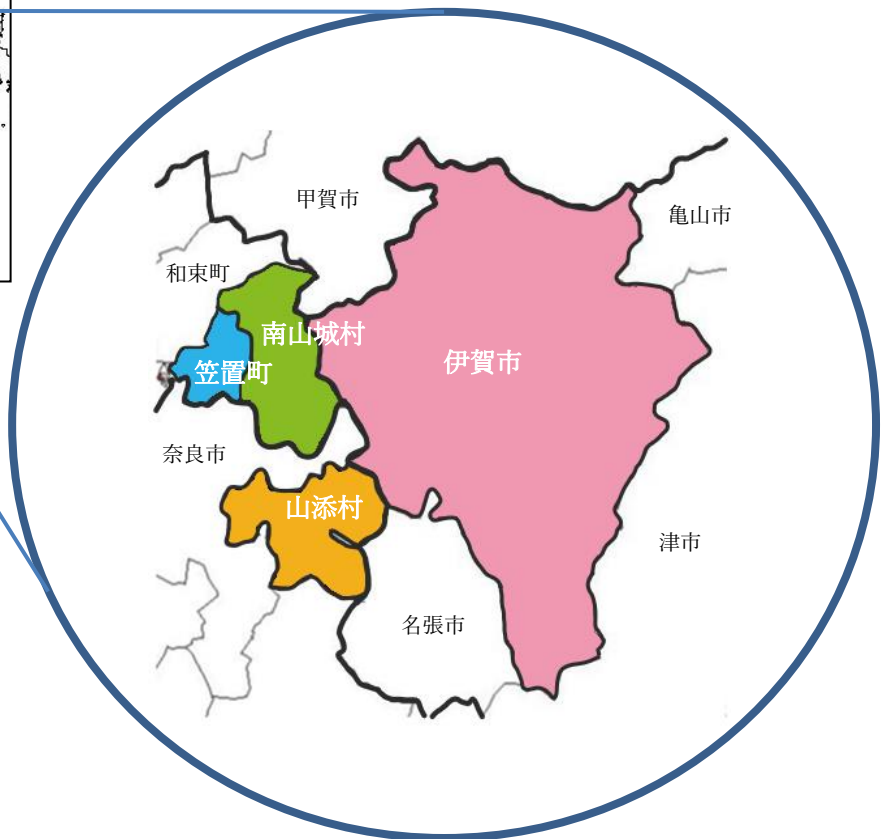
また、これらの丘陵地の間をぬうように大阪湾に流れ込む淀川の源流となる木津川などが流れています。

この圏域は、古くは都（飛鳥・奈良・京都等）に隣接し、ことば・歴史・文化・経済などさまざまな面で、人の行き来や生活の中での交流がありました。今でも圏域内を東西に名阪国道やJR西日本の関西本線が通っているなど、たがいに深い結びつきがあります。

この圏域は京都や奈良など都に近いことから、歴史や文化の面でも影響を強く受けていて、観光の名所や恵まれた自然から作られる農産物などの特産物もたくさんあります。そんなこの圏域の良いところを活用しながら、4つの市町村が力を合わせてこの「定住自立圏」を盛り上げていきます。



市町村名	人口
伊賀市	86,182人
笠置町	1,128人
南山城村	2,461人
山添村	3,143人
圏域合計	92,914人



「伊賀・山城南・東大和定住自立圏」では、伊賀市、京都府笠置町、南山城村、奈良県山添村が地域の絆を深めるために「ロゴマーク」を作りました。このロゴマークは、さまざまな場面で使われることで、私たちの地域の一体感を高め、自分たちの地域に誇りを持つことができるようになることを目指しています。ロゴマークを使うことで、さらに地域の結びつきが強くなっていくことを期待しています。



いがし

# 伊賀市

説明

伊賀市は、三重県の北西部に位置し、四方を山々に囲まれた盆地で豊かな自然に恵まれています。古くは都（飛鳥・奈良・京都など）に接し、ことば・歴史・文化・経済など様々な面で影響を受けてきました。また、江戸時代には藤堂藩の城下町や京都・奈良や伊勢を結ぶ大和街道・伊賀街道・初瀬街道が通る交通の拠点として宿場町が栄えてきました。京や大和の文化の影響を強く受けながらも独自の文化をつくり、伊賀流忍者や松尾芭蕉のふるさととして歴史文化の薫る町としても発展しています。



かさぎちょう

# 笠置町

説明

笠置町は、京都府の最南端に位置し、府内で一番人口の少ない町です。町のシンボルでもある笠置山は古くから信仰の対象とされ、山頂の笠置寺には日本一といわれる弥勒大磨崖仏があります。また、後醍醐天皇の行在所としても知られ、当時をしのぶ史跡も数多く残っています。四季を通じて豊かな自然を楽しめ、日本の桜名所百選に選定されている桜が春を告げ、秋には笠置山が錦に染まります。笠置町は歴史と美しい自然が調和する町です。





みなみやましろむら

## 南山城村

説明

南山城村は、京都府の南東端にある京都府で唯一の「村」です。  
村の中央を流れる木津川と、高山ダム湖や夢絃峡の清流が美しい景色を作り出しています。村の人里離れた谷間や丘の上には、緑豊かな茶畑が広がっています。急な傾斜地にある茶園はお茶栽培に適した気候と土壌条件を兼ね備え、この地特有の薫り高く品質の良い宇治茶が作られることで有名です。また、木津川を挟んだ北側には夏でも涼しい童仙房高原など、自然豊かな美しい風景が広がっています。



やまぞえむら

## 山添村

説明

山添村は、奈良県の北東端にあります。周りには伊賀市や名張市、奈良市、宇陀市があります。山の形は起伏があり、ゆるやかな傾斜地が多いです。この地域では大和茶がたくさん作られています。観光の中心地は神野山で、つつじや鍋倉溪、神野寺などが有名です。県立月ヶ瀬神野山自然公園にも指定されています。自然がいっぱいで、歴史も古いです。また、国道25号と名阪国道が村を縦断しているので、近くの市や都市に行くのも便利です。



## 本日の会場の三重県広域防災拠点とは？

大きな災害さいがいが起こった場合、自衛隊じえいたいや消防しょうぼう、警察けいさつなどの助ける人たちや、災害派遣医療チームディーマツト (DMAT) やボランティアなどたくさんの人たちの応援おうえんが必要になります。

また、全国からたくさんきゅうえんぶっしの救援物資が届けられ、被災者ひさいしゃのところに早く届ける必要があります。

このような応援の場所や救援物資を受け取る場所を『防災拠点』と呼んでいます。

災害が起こってから場所かくほを確保すると遅くなるので、あらかじめ確保しておくことが大切です。

特に、大きな災害に対応できる『広域防災拠点』は、市町しまちを越えて活動が必要なので、三重県では県内のいろいろなところせいびに整備しました。

広域防災拠点にはいろいろな機能きのうがあります。主な機能は、『飛行機などで運ぶ機能』・『物資あつを集め配る機能くば』・『一時的に保管ほかんする機能』・『応援の人を受け入れる機能』・『情報を伝える機能』・『連絡や調整ちようせいをする機能』です。これらをうまく使って、大きな災害に対応します。

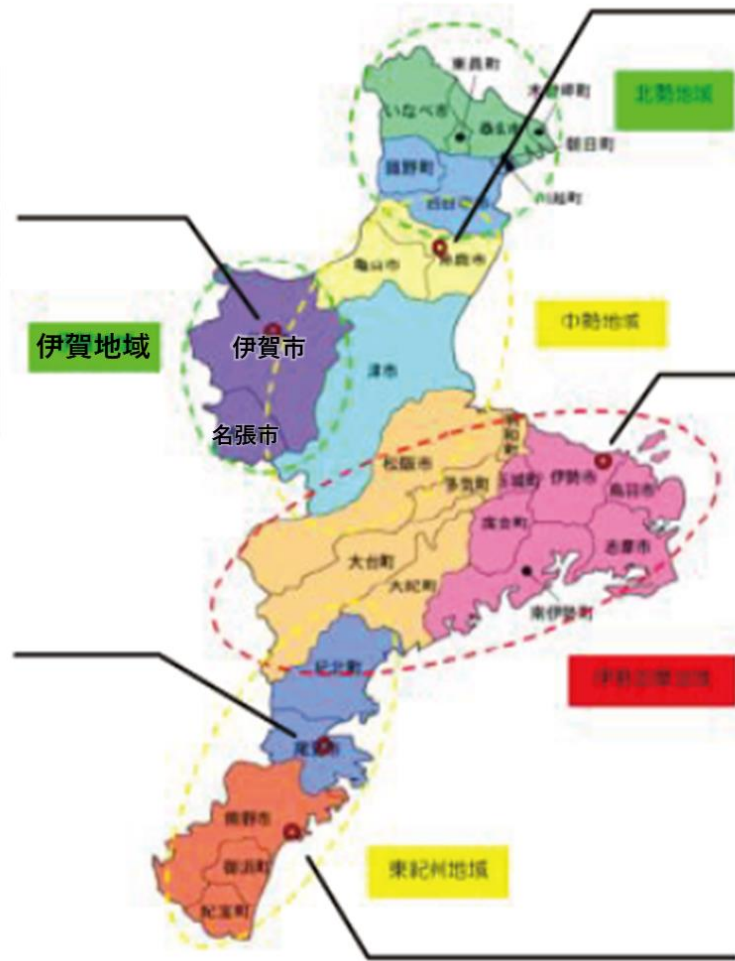
広域防災拠点は災害のときに24時間活動かつどうできるように、夜でもヘリコプターが使える設備へいじょうじがあります。平常時には訓練くんれんなどにも使って、素早すばやく活動できるようにしています。

# 【三重県広域防災拠点】

伊賀拠点



東紀州〔紀北〕拠点



中勢拠点



伊勢志摩拠点



東紀州〔紀南〕拠点

